

大阪工大通信 およど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

およどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

OIT Website▶<https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

およど No.289

2024年3月

CONTENTS

P2
卒業生に贈る言葉

P3~5
卒業生特集

P6~7
情報科学部
「paiza (パイザ) ランクチャレンジ×OIT」の
表彰式を開催 ほか

P8
大学院の奨学金制度について

頑健かつ柔軟に

皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。さまざまな困難を乗り越えて学修や研究活動に注力され、この日を迎えられましたことに対し深く敬意を表します。

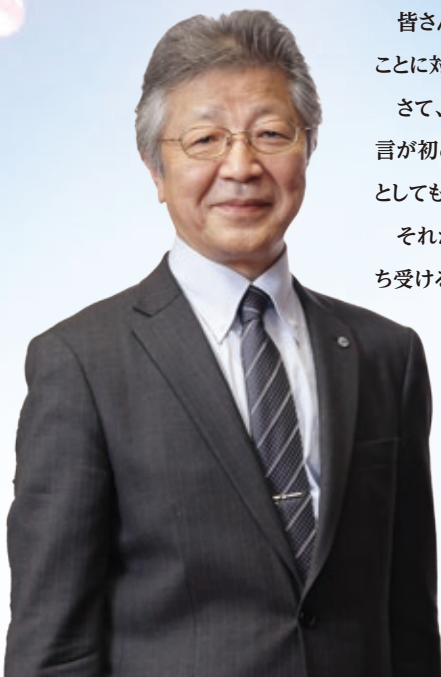
さて、卒業生諸君のほとんどが入学された4年前を思うかべますと、当時は未知の新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が初めて発出され、入学宣誓式やガイダンスが実施できない状況でした。今や日常となったオンライン授業・会議ですが、大学としても、当時は先の見通せない不安な状況での新学期開始となったことを思い出します。

それから4年が経過し、皆さんは大きく成長されたことと思います。しかし、その間にも社会情勢は変化し続けています。今後待ち受ける予測困難な時代を生き抜いていくには、情勢に変化があっても自身の行動規範がぶれない心の強さ(頑健性)、うまく事が運ばなかった際の代替措置を考えてみる心のしなやかさ(柔軟性)が必要となります。

社会へ出られた後も、皆さんはさまざまな困難に直面することになるでしょう。その際には本学で学んだ誇りと自信を胸に事にあたると同時に、他人の意見を聞いてみることも重要です。学生生活の中で築いてきたネットワークを最大限活用し、「強く、かつ、しなやかな心」を持ってこれからの人生を歩んでください。

健康にはくれぐれも留意され、大阪工業大学の遺伝子を持つ皆さんがそれぞれの分野で活躍されますことを心より願っています。

大阪工業大学 学長 井上 晋



卒業生に贈る言葉



副学長(教育・研究改革、学生支援、産学連携担当)

芦高 恵美子

幸運は用意された心のみに宿る

ご卒業・修了おめでとうございます。細菌学者ルイ・パスツールの言葉「Chance favors the prepared mind. (幸運は用意された心のみに宿る。)」を贈ります。私はこの言葉をとても大切にしています。研究の発見は偶然のものではなく、常に準備をすることにより機会を得ることができるということです。社会人になっても学ぶ姿勢を忘れずに、チャレンジを続けてください。皆さんに素晴らしいチャンスが訪れますように祈念しています。



学長補佐

佐野 睦夫

自信をもって一歩前に!

ご卒業・修了おめでとうございます。まずは、今まで支えてくださったご家族の方々に感謝の意を伝えてください。皆さんは、これから、正解例のない多くの課題に直面すると思います。このようなときには、本学での実践的な学びや、さまざまな経験を思い出し、成長した自分に自信をもって、前に踏み出してください。きっと、夢ある未来を切り拓くことができると思います。チャレンジすることで、さらに自身を成長させてくれます。皆さんのご活躍を祈念しています。



工学部長
(研究科長兼任)

森實 俊充

素晴らしい未来があなたにありますように

ご卒業・修了おめでとうございます。コロナ禍によってある意味大きく変化した学生生活が終わります。これから社会に出ていく皆さんにとって、学生時代にこの変化を乗り越えたという経験はかけがえのないものとなるはずで、社会は常に変化しています。良いことも悪いことも次々起ります。今後もこの社会の変化に順応しながら、立派に活躍されることを楽しみにしています。皆さんの前途洋々たる船出を心からお祝い申し上げます。

ロボティクス&デザイン工学部長
(研究科長兼任)

井上 明

雲外蒼天

ご卒業・修了おめでとうございます。学生生活も終わり、新たな生活がスタートします。「雲外蒼天」。どのような試練であっても、努力して乗り越えた先には快い青空が望める、という意味です。授業や卒業研究などを乗り越え、今日この日を迎えた皆さんの心境はまさにこの言葉に近いかもしれません。これまで学んだ知識、自信を糧にしてこれからの人生を切り開いていってください。皆さんの将来は必ず素晴らしいものになることでしょう。社会で活躍する皆さんの姿をこ梅田からいつも応援しています。



情報科学部長
(研究科長兼任)

塚本 勝俊

あなたの輝く未来に向けて

ご卒業・修了おめでとうございます。まずはご家族、これまでご支援くださった方々に感謝の意をお伝えください。大学・大学院で培った思考力と創造力は、これからの仕事の中でかけがえのないベースとなります。大学入学直後に直面したコロナ禍を乗り越えた対応力も大いに役に立ってください。皆さんは新しい情報技術で社会を変革する牽引者として大変期待されています。これまで以上に新しい知識や考えを吸収し、どんな困難も切り開ける力に磨きをかけてください。未来にわたって輝く皆さんのご活躍を期待しています。

知的財産学部長
(研究科長兼任)

杉浦 淳

知的財産で世界の扉を開く皆さんへ

ご卒業・修了おめでとうございます。大学・大学院で過ごした多くの楽しい大切な思い出を胸に、新社会人として元氣よく羽ばたかれることと思います。社会に出た後、主役は皆さん自身です。常に笑顔をやさしく、感謝の心を忘れずに、困難に立ち向かってください。必ず何とかなります。皆さんが学んだ知的財産は、世界の明日を創り、社会の発展と人の幸せに貢献する力です。全てから学び、信じるところに従って歩み続けてください。若い人は驚くほど成長します。母校は永遠に皆さんの応援団です。皆さん一人一人のご活躍をいつも祈っています。

卒業生特集

4年間を振り返って



城北祭 実行委員会

工学部
都市デザイン工学科

木村 遥華

就職内定先
京都府庁

思い出の作品

3年次の城北祭では、常翔学園創立100周年を記念したモザイクアートを製作しました。学祭期間中に撮影した写真でモザイクアートを作り込んだので、どのような写真が撮れてどのような仕上がりになるのか、楽しみながら進めることができました。企画や準備から当日の進行まで自分が主体になって行動したこともあり達成感は大きく、1枚1枚の写真に思い出が詰まっていたので完成品を見て感動しました。

挑戦

私が幹部として携わった2022年度の城北祭は、コロナの影響もあり、数年ぶりに完全対面で実施したため、わからないことが多く、とても苦労しました。城北祭開催直前には、毎日みんなで夜遅くまで部屋に残って準備をしていたことがとても印象に残っています。大変だったことが多かった分、学祭の運営を通して学んだことも多く、達成感も大きかったので経験できてよかったです。

4年間の成長

大学生活ではクラブ活動だけでなく、勉強やアルバイト、友達との時間も大切にしてきました。どれも大切にしたいという思いが強かったので、限られた時間を有効に活用するためにスケジュール管理に力を入れていました。そのおかげで計画性が身につく、就職活動でも自分の強みとしてPRできました。今後も周りの人たちへの感謝を忘れず、大学生活で培った力を生かして毎日を過ごしていきたいです。



多く学び成長した4年間



体育会

ラグビー部
知的財産学部 知的財産学科

東川 鷹光

就職内定先
株式会社河合楽器製作所

1度きりの夏合宿

コロナの影響もあり、入学以降実施できなかった強化合宿が、4年次の夏に実施できたことが最も印象的な思い出です。私はプレイヤー兼主務だったため、宿舎やバスの手配、合宿先での練習試合等を手配しました。中学、高校では先生方に準備していただいた事を、大学の課外活動では学生主体で準備します。社会に出る前にこのような経験が出来て良かったと思います。合宿中ではプレイヤーとして自分の課題を再確認でき、主務では臨機応変な

対応力を学びさらに成長することができたと思います。

臨機応変な対応力

物事は予定通りに進まないことが多くあります。「言われていた事と違う」となってもそれに感情的になっている時間が勿体ないと思います。臨機応変な対応力が重要だと考えます。これからの人生でも臨機応変に対応できる力を養って自分自身の大きな強みにしたいと思います。



優先順位の判断

ラグビー部の主務の仕事は1年間多忙ですが、4月が一番忙しくなります。部活関係の書類提出、練習試合の手配、授業、就職活動が終盤に入りどれから手を付けてよいかわからなくなります。そんなときに私はやるべき事を文字におこして、期限と優先順位をつけて対応しました。それはラグビーにも活かすことができ、出来ないことや苦手なことを整理して、試合に向けて順次修正することが出来ました。

大学生のうちにはしかできない活動を



応援団

工学部
電気電子システム工学科

村上 大和

就職内定先
住友電設株式会社

新体験の連続

まだ入団して1ヶ月余りしか経っていない時に、硬式野球部が全国大会の切符を勝ち取り、東京ドームで応援することが決まった日のことは、今でも印象的です。大学関係者やOBの方々が一丸となり、必死に応援する姿に恥じぬよう、応援歌や型を先輩方から叩き込まれたことを忘れません。コロナウイルスの蔓延に伴い、応援する舞台は減少したものの、できることから手を付けていき、稽古を続けて、城北祭での演武披露、式典での大学歌斉

唱・エールなど壮大な応援を披露することができました。

プラスアルファの努力

私は4年次、団長としてOBの方々からご指導をいただき、また団員に指導やアドバイスを行い、日々鍛錬に励んできました。ただ与えられた情報を伝えるのではなく、団員に分かりやすく伝えるよう工夫し、また具体的なトレーニング方法や綺麗な姿勢の保ち方なども教えるようにしました。さらに、団員には自分で考えたメニューで鍛えるようにも促しました。教える側も、教えられる側もプラスアルファの努力がとても大事だと学びました。



人を笑顔に

大学では、電気に関する専門的な知識と活用方法などをしっかり学びました。就職先では、それらを活かしたうえで、応援団で培った「適材適所に人を配置し、事が上手く運ぶようにする力」を存分に役立てたいと考えています。任された仕事を淡々とこなすだけでなく、仕事を通じた人との関わりや、将来を見ずしてやるべき事は何なのか、それらをよく考えたうえで周りの人が笑顔になるような人生にしたいです。



モノづくりを通じての学び



モノラボプロジェクト

人力飛行機プロジェクト
工学研究科 電気電子・機械工学専攻
博士前期課程 機械工学コース

中山 壮太

就職内定先

ヤンマーホールディングス株式会社

大きなモノづくりの醍醐味

飛行機の胴体製作の担当責任者として仕事を任されて、メンバーと協力しながら飛行機を完成させたときの喜びは今でも鮮明に覚えています。プロジェクトとして求められていたモノづくりは個人のモノづくりとは異なり、規模や責任感が大きい

分、やりがいと達成感がありとても良い経験になりました。

自分が知らなかったモノづくり

プロジェクトでのモノづくりでは、必ず予定外のことが起こります。それは、大きなモノづくりであるほど、関わるメンバーや部品の発注依頼が増えることが1つの大きな要因です。大きなモノづくりは、工作の知識や技術があるだけでは成り立ちません。むしろ、マネジメント能力こそが最も重要であることを痛感しました。

将来の夢

春からは、1人の社会人として生きていくことになります。当然、今の環境よりも忙しく自由な時間が少なくなると思いますが、その中で、今必要なことは何かを常に頭の中で考えて、行動できるような人になれるように努力したいと思います。そして、10年後、20年後に自分のなかで誇れるモノづくりがあればとても幸せだと思います。



一瞬で4年経った



留学生

ロボティクス&デザイン工学部
ロボット工学科

スリヤ プラタマ ホリスマン

就職内定先

三菱自動車工業株式会社

TAをしながら新しい友達を作る

4年生の時に、英語能力を買われ、タイの協定大学から受け入れる留学生と交流する授業「ものづくりデザイン思考実践演習」でTA(ティーチングアシスタント)の依頼があり、務めました。

授業を履修する学生とタイ人の学生との間に入り、作業の補助をするなどして楽しい時間を過ごしました。昨年は、コロナ禍のため対面での交流ができませんでしたが、今年は可能になったため、みんなで食事に行くこともでき、とても楽しかったです。

諦めず頑張ること

就職活動は非常に忙しいと思いますが、諦めずに頑張ることが大事です。頑張ったことは絶対結果が出ると思っています。3年生の時にインターンや説明会に参加することで早期選考を受けることができ、就職活動がスムーズになりました。また先生に遠慮なく相談することも大事です。キャリア支援課では、インターンや説明会の情報をいくらでも提供してもらえるので、遠慮なく相談してください。最後に英語を勉強することです。大手企業は英語能力を重要視していて、TOEICはアピールしやすいです。

自分が好きな仕事をしたい

私は、バイクや車が好きなので、自分のガレージを持ちたいと思っています。ガレージでバイクや車を整備しながら楽しく仕事をしたいです。就職先は自動車メーカーで、海外へ行くことが多いので、仕事の傍ら旅行に行きたいと思っています。



学びの4年間



梅田キャンパス

ロボティクス&デザイン工学部
ロボット工学科

由良 広樹

就職内定先

東海旅客鉄道株式会社

部活動での経験

課外活動では航空部と人力飛行機プロジェクトに参加し、航空機の運用やチーム統制を学びました。人力飛行機プロジェクトではメンバーと共に機体を製作することでチームワークの楽しさを実感しました。大学でのこれらの経験をとおして知識だけでなく実践的なスキルを養うとともに、失敗を乗り越える強さを身につけることが出来ました。また、これらの瞬間は大学生活の中で宝物であり、将来への自信を築けたと思います。

一つの目標を強く持つ

自己分析を通じてやりがいを感じる価値観や将来の目標を再確認しました。その結果から志望企業を一社選び、その企業に対して自己の強みなどを、どの様にアピールできるかを考えました。また、複数の企業のインターンシップに参加し、業界についての理解を深めました。このような経験から私は就職活動では一つの目標を強く持ち、粘り強く努力し続けることが大切であると考えています。

信頼される存在

将来の人間像は、信頼される存在でありたいと考えています。航空部での経験から学んだことは、チームの一員として協力し、個々の能力を高めながら全体に貢献することの重要性です。信頼とは、協力と誠実な関係から生まれ、それがチームを高めると考えています。将来は、他人との連携を大切に、自らの責任を果たしながら信頼と協力を築くことで、社会に貢献できる人間になりたいと思います。



大学での4年間



枚方キャンパス

情報科学部
情報メディア学科

河野 翔馬

進学先

大阪工業大学大学院 情報科学研究科 情報科学専攻 博士前期課程

研究室の経験

研究室ではたくさんの経験を積みました。特に学会発表や外部での展示会では、普段関わることのない他大学の学生と意見交換を行ったり、企業の方々からの指摘をいただくことがあり、専門知識を深めると同時に、自身の研究を明確に伝える能力を向上させることができました。時には、質問に上手く答えられないこともありましたが、こうした失敗を経て次の対策を立てることができ、大きく成長することができました。

部活動を通して

私は大学2年のころ、所属していたストリートダンス部枚方支部の部長を務めることになりました。SNSなどを活用して積極的に活動を広報したり、新入生歓迎会や北山祭に向けた取り組みを部員たちと相談することで、組織を動かす責任感や時間管理の重要性を理解することができました。また大学職員の方々との様々なやり取りやコミュニケーションをとることで、信頼関係を築くことができました。部活動を通じて得たこれらの経験は、今後の人生において活かしていこうと考えています。

大学生活で得たもの

コロナ禍でオンライン授業の形で始まった大学生活でしたが、その環境下で自分は何をするのかを考えるきっかけにもなりました。大学で情報関係の知識を学んだり、グループワークで初対面の人とコミュニケーションをとる経験、アルバイトで社会経験を積むなど、色々なものに興味を持ち多くの人達と新しいことに挑戦することができたので、とても重要な4年間で過ごすことができました。



大学生活で得たこと



大学院生

工学研究科 建築・都市デザイン工学専攻
博士前期課程 建築学コース

石田 大樹

就職内定先

株式会社大林組

多くの出会い

大学生活では、多くの人との出会いや機会に恵まれたと感じています。授業では、大学の教授だけでなく会社や事務所で働く外部講師からも直接指導を受けることで、専門分野である建築に対する視野を広げることができました。また、グループワークがあるPBL型授業では、協力して物事に取り組む重要性を学ぶ機会になりました。意見を出し合い、ぶつかり合いながらも最優秀賞を受賞できたPBL型授業は今でも充実した経験を得ることができた授業として印象に残っています。以上のように大学生活では、自分一人ではできない経験や気づきを得る機会に恵まれたと感じています。

業として印象に残っています。以上のように大学生活では、自分一人ではできない経験や気づきを得る機会に恵まれたと感じています。

スケジュールを把握する

したいことをはっきりさせた上で、就職活動のスケジュールを把握するのが大事だと思います。私は就職活動が忙しくなり、焦る気持ちが出た際に、その都度スケジュールを確認していました。その結果、学業と就職活動の両立に最適な行動を取ることができたと感じています。また、就職活動が本格的に開始する前の時期に先輩や教授、キャリア支援課の人など多くの人に事前に就職活動について質問していたことで、就職活動の最中にも不安を軽減して活動することができました。

Think globally, Act Locally

大学院では、オーストリアのウィーンに滞在することができ、多様な価値観や文化に触れることができました。また、学部時代に、地域のボランティアに参加した経験から地域活動が重要であると感じています。今後は仕事を楽しみ、国内外問わず活躍していきたいです。



工学部ナノ材料マイクロデバイス研究センターの 学科横断的な研究体制について

工学部附置施設のナノ材料マイクロデバイス研究センターは1987年の開設以来、35年以上にわたって材料・デバイスに関わる先端研究ならびに教育の場として機能してきました。現在、工学部の横断的な研究体制を発展させるため、センターでは「材料デバイス開発部門」、「マテリアル分析部門」の1センター2部門として、最新機器の導入を進め機能の拡充を図っています。最近では、2022年度にX線光電子分光装置(XPS)、2023年度にはX線回折装置(XRD)、および私立大学等研究設備整備費等補助金の採択を受けてエネルギー分散型X線付き走査型電子顕微鏡装置(SEM)を導入し、教育研究に活用しています。

今後は、これらの機器の利用とともに研究者相互の共同研究プロジェクトの推進、産官学連携の活性化を加速させ、外部資金の獲得に繋がる成果も得られることが期待できます。工学部の附置施設研究センターとして、社会に貢献できる先端的研究および実践的な教育をすすめてまいります。



X線光電子分光装置 (XPS)



X線回折装置 (XRD)



走査型電子顕微鏡装置 (SEM)



「paiza(パイザ) ランクチャレンジ×OIT」の表彰式を開催しました

12月13日、情報科学部は「paiza(パイザ) ランクチャレンジ×OIT」というプログラミング学習応援企画の表彰式を開催しました。この取り組みは、夏期休業期間に自主的な学習を奨励し、優れたプログラミングスキルの習得を目指すことを目的としており、182人の情報科学部生が参加しました。参加した学生らは、8月7日のキックオフから11月30日まで約4か月間、オンラインのプログラミング入門学習コンテンツである「paiza(パイザ) ラーニング」を活用して、プログラミングスキルの向上を図りました。

paiza(パイザ)独自の「プログラミングスキルチェック」が行われ、参加者の技術力を評価。このスキルチェックによって、参加者のスキルが可視化され、学習成果がS,A,B,C,D,Eの6段階で評価されます。チャレンジの結果、最高ランクであるSランクに6人、Aランクは8人、Bランクには26人の学生がランクインしました。上位に入賞した学生らは、更なる技術向上を目指してU-22プログラミング・コンテストやICPC国際大学対抗プログラミングコンテストなどに挑戦します。



上位入賞者



家具のデザインコンテストで入選

ロボティクス&デザイン工学研究科 ロボティクス&デザイン工学専攻 博士前期課程
プロダクトデザインコース1年の確井厚希さんが次のとおり受賞しました。

入選「m stool」

「木材を使った家具のデザインコンペ2023」(主催:家具コンペ2023事務局)

「木材を使った家具」がテーマで約200点のなかからグランプリを含む14点が入賞、入選しました。

「GOOD DESIGN NEW HOPE AWARD 2023」

(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)

応募総数415点のなかから最優秀賞を含む8点が優秀賞、70点が入選として選出されました。

作品の概要

「m stool」は座る、積み重ねて収納するといった一般的なスタッキングスツールの使い方に加え、机と椅子として、時には棚としてなどと、使用者自らが何かに見立て、創造し、使うことのできる余白性を内包した新しいスタッキングスツールの提案です。



在学生が著作権ビジネスを 社会で実践！

水野ゼミの本屋

知的財産学部・水野研究室では、「本を作って、売って、読者をつなぐ」をテーマに、学生が出版社とともに書店を運営する著作権ビジネスの実践を行っています。

出版社としての成果である中平文字「女のくせに」や「文豪かるた」は日本経済新聞、毎日新聞で紹介され、書店「水野ゼミの本屋」(大阪市北区)は雑誌「AERA」、「ダ・ヴィンチ」で紹介されました。



水野ゼミの本屋



学生同士が切磋琢磨し難関資格を 目指しています！

弁理士試験 受験支援について

知的財産に関する国家資格「弁理士」は、国内でも難関資格として知られています。

知的財産学部・知的財産研究科では、学生の弁理士試験受験の支援を行なっています。



受験会勉強風景

毎週土曜日の午前中に基礎講座「知財塾」、同午後に「弁理士受験会」、その他、講義時間の終了後には学生同士で学び合う勉強会が実施され、志を同じくする学生が切磋琢磨しています。



アイスホッケー部がインカレセカンドディビジョンで優勝しました

12月15日から17日、尼崎スポーツの森(兵庫県)で開催された「第96回日本学生氷上競技選手権大会アイスホッケー競技会」セカンドディビジョンに本学体育会アイスホッケー部が出場し、第94回大会以来2度目の優勝を果たしました。セカンドディビジョンは大学日本一を決めるファーストディビジョンへの出場は叶わなかったものの各地区の最終予選会において上位の成績を取めた8チームがトーナメント方式で優勝を争うもので、徹底した基礎トレーニングと高い運動量を誇る同部は予選会でその強さを発揮し、インカレ出場権を獲得しました。

優勝までの道のりは全3戦。1回戦、準決勝ともに力量差が少ない対戦相手でしたが、自分たちのプレイスタイルを発揮して試合の流れを掴み、難なく突破しました。

優勝をかけた決勝戦の相手は東北福祉大。格上の実力を持つチームでしたが、試合終了まで残り3分のところで逆転の追加点を決める劇的な試合で優勝しました。

主将の数原稜也さん(P4)は、「キーパーを要に、守りから攻撃に転じる試合展開が得意でした。他のどこにも負けないチーム力で優勝することができ、嬉しいです」と個性豊かなメンバーがそろった今年のチームを振り返り、「学生生活最後の大会で結果を残せたのは自分たちだけの力ではなく、日ごろから支援いただいている大学関係者や監督、コーチ、保護者、応援してくれたたくさんの方々のおかげです。本当にありがとうございました」と感謝を伝えました。



最終ピリオド前に円陣を組む部員たち



優勝が決まり、喜びを分かち合う部員たち



優勝トロフィーを手に笑顔が弾ける部員たち



常翔学園OITホールにて「110番の日」イベントを実施しました

1月10日、常翔学園OITホールにて「110番の日」イベントを実施しました。(主催大阪府警察本部、共催旭警察署、大阪工業大学)

オープニングセレモニーで、大阪工業大学文化会ピアノの会が3曲の演目を披露し開会に華を添えました。

セレモニーでは「110番の日」の普及広報活動に協力した団体として、学校法人常翔学園が表彰されました。

その後は、通信指令室による「適正な110番利用」についての講演、大阪府警察本部府民安全対策課安全指導班による「特殊詐欺被害防止」の寸劇が行われました。

大阪工業大学では、今後も教職員、学生に向けて事件・事故の緊急通報電話である「110番」の適正な利用を啓蒙し、日常の防犯意識を高めていきます。



大阪工業大学文化会ピアノの会の演奏



表彰を受ける栃岡事務局長

Club pick up!

書道部 部長 柴田 雄大

書道部は、総勢50名で活動しています。主な活動は、書展の開催や書道パフォーマンスの披露、他大学との合同練習・交流会などです。

2023年度は新たに、旭区役所が主催のあさひファンフェスタに参加し、年賀状や七夕の短冊のワークショップを開きました。

2023年度学園祭では、恒例の大筆パフォーマンスやキャンドルナイトのパフォーマンス、書展を開催しました。

書道パフォーマンスでは、6月から練習を始め、約5ヶ月間本番に向けて何度も練習して構想を練り続けました。当日のステージではパフォーマンスしている部員の姿を見て、胸が熱くなりました。メインステージの最後のパフォーマンスでは3年生からお世話になった先輩や後輩に向けて感謝と愛を伝えました。最後に大勢の方々に感動していただけるようなパフォーマンスができて良かったです!

書展では、手作りで掛軸の製作に取り組みました。布はそれぞれ違う模様で、書いた本人と作品の雰囲気に合うものを探しました。お店で材料を3時間選んだことも思い出です。

作りたかったものを作り上げるのは簡単なことではないけど、書展のリーダーを中心に部員で協力して作り上げることができ、挑戦してよかったと思いました。

1人の力では成し遂げられないことでも、仲間と共に歩み、協力すればどんな困難でも乗り越えていけるということを城北祭や日々の活動を通じて体験しました。今後の書道部の活動にご期待ください!



パフォーマンスの様子



書展の様子



大学院の給付制奨学金が充実しています！

本学では学生が積極的に勉学に励み、充実した学生生活を送ることができるよう、特に学内進学者向けに、独自の給付制奨学金を整備しています。これら奨学金は勉学に意欲があり、それにふさわしい能力を持った学生の経済的困難を支援するものです。

特に「大学院入学前予約採用型給付奨学金」は原則として、「学内進学者入学選考」および知的財産学部は「早期進学」の入学者も援助する制度で、大学院生を強力にサポートしています。

【大学院の主な奨学金】 学内進学者に限定。いずれも給付制奨学金。

奨学金の種類	大学院 入学前予約採用型給付奨学金		大学院 グローバル人材奨励給付奨学金		大学院 特待奨学金	
	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程
給付額 (年額)	【学科内成績最上位者】 (1年次)57万5千円 (2年次)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次)37万5千円 (2年次)30万円	【学科内成績最上位者】 (1年次)60万円 (2年次)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次)40万円 (2年次)30万円	20万円		年間授業料の 全額相当額 (102万円)	年間授業料の 全額相当額 (123万円)
採用資格	本大学院所定の入試(※1)により合格した学生で、 学業・人物ともに優秀と認められる者		本学の学内進学者および 学内進学した在学生で、 TOEICスコアが所定の点数を満たす者(※3) ただし英語を母国語としていない者 (過年度実績:550点)		学部3年次までの成績が極めて優秀で、 経済的理由のため就学が困難と認められる者で、 TOEICスコアが所定の点数を満たす者(※3) (過年度実績:450点)	
採用定員	採用資格を有する者		採用資格を有する者		原則、各学科1人	
給付期間	2年間 (継続審査無し)		1年間 (在学時1回限り)		2年間 (1年次末に継続審査あり)	
出願について	入試出願時に合わせて出願(※2)		4月にポータルサイトに案内		被推薦者は本学所定の入試(※1)を受験すること	

- ※1 博士前期課程は学内進学者入学選考、専門職学位課程は学内進学者入学選考または、早期進学による所定の入試を示す。
- ※2 専門職学位課程の早期進学者については、12月にポータルサイトに案内(予定)。
- ※3 公式認定証/スコアレポートの提出が必要です(得点は変更される場合があります)。オンライン実施分は対象外です。
- ◆上記のほか、テラサキ奨学金(工学研究科電気電子・機械工学専攻電気電子工学コースのみ対象)があります。
- ◆博士後期課程の奨学金についてはHPをご参照ください。
- ◆奨学金制度や金額は変更することがあります。

学生相談室
だより

春の歌

学生相談室カウンセラー 山下 彩

春は希望の季節。と言いますが、本当に誰にとっても明るく楽しいのでしょうか。

前へ向かって歩く人、立ち止まっている人、迷っている人、がけつぶちの人。いろいろな思いが交錯しているはずだ。

ふと気になって「春の歌」を検索し、定番から最近のものまで十数曲の歌詞を眺めると、出会い・別れ・希望・絶望・明・暗が、複雑に入り混じって見えました。

今年の大河ドラマは平安時代が舞台ですが、このころに詠まれた春の和歌にも不安や切なさのじむものが多く残っています。人の思いはいつの時代も変わらないということでしょう。

何かが終わって何かが始まる。楽しくても苦しくても、何歳になっても……。春はそんな季節なのだと思います。

この春は、あなたにとってどんな春ですか？

工大流就職支援 64

～就職NEWS～

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。企業への就職、大学院への進学など、進路について真剣に考え悩んだ1年間、本当にお疲れ様でした。これまでの人生において、これほど深く自分に向き合ったことはなかったことでしょう。しかし、悩み苦しんだ分だけ自分の奥底にある可能性に気づくことができたと思います。この経験が一回りも二回りも自分自身を成長させたことは間違いありません。どうか自信を持って、新しい舞台で大いに羽ばたいてください。そして、新しい舞台でさまざまなことに挑戦し、さらに大きくキャリアを発展させてください。

今後は大阪工業大学の卒業生キャリアサポーターの一人として、後輩たちの良き相談相手として、ご支援・ご協力いただけることと期待しています。最後に、皆さんの新天地でのご活躍を祈念いたします。